

南風原町人口ビジョン及び南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型事業について

1. 地方創生先行型交付金制度について

「まち・ひと・しごと創生法」が施行（平成 26 年）され、急速な少子高齢化の進展という大きな課題に対し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、国と地方が一体となって、①東京一極集中の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、③地域の特性に即した地域課題の解決に向けて、すべての都道府県及び市町村に「地方版総合戦略」の策定が求められました。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）は、地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって、地方版総合戦略に位置付けられる見込みのものを実施するために、国から交付された交付金です。

この交付金を活用した事業の実施にあたり、事業の目標となる指標（KPI）をあらかじめ定め、事業終了後には事業の達成度や成果について検証することが求められており、この検証に際しては、外部有識者等で構成される検証機関により客観的に評価を行うこととされています。

2. 実施した事業と人口ビジョン及び創生総合戦略との関係

地方創生先行型交付金を活用し、本町では平成 27 年度に 2 つの事業を実施しました。各事業には、それぞれの個別目標を掲げました。（別表【ア】～【エ】）。

本町の地方創生の基本となる計画である「南風原町人口ビジョン及び南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成 28 年 3 月策定）では、人口の将来展望としては、合計特殊出生率の直近の実績値 2.09 を将来的に維持することを目標に、平成 72 年（2060 年）の総人口を概ね 41,700 人と捉えています。

総合戦略の位置づけとしては、出生率 2.09 を維持するために施策を総合的、包括的に取り組む必要があり、様々な施策を実施することで住みやすい・住み続けたいと思える地域づくりを目指すものとなっています。本町の総合戦略では、3 つの基本目標と、基本目標ごとの数値目標、基本目標を実現するための施策の基本方向を定めるとともに、施策の達成度を図る重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

そのため、地方創生先行型事業は、総合戦略の策定に先行して実施した事業ではありますが、当該個別事業の目標（別表【ア】～【エ】）の達成だけでなく、総合戦略に掲げた基本目標や KPI（別表【オ】、【カ】）の達成をめざす必要があります。

3. 評価の方法

□事業の評価

- ① 実施した事業が総合戦略に掲げる KPI【オ】及び基本目標【カ】を達成するために有効であったかどうかについて
- ② ①の評価の理由・意見について

□事業の今後について

- ③ 事業の今後の方針について（事業拡大、見直し、継続、中止、終子）
- ④ ③の今後の方針の理由について

南風原町人口ビジョン及び南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地方創生先行型事業

NO	交付対象事業の名称	実績額 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				総合戦略との関連			
			【ア】指標(KPI)	【イ】現状値	【ウ】目標値	【エ】実績値	【オ】指標(KPI)		【カ】基本目標	
1	地域健康づくり事業	9,983,559	地域公民館の血圧計の利用延べ人数	—	800人	2,153人	特定健診受診率		本町に住み続けたいと答えた人の割合	
							現状値	目標値	現状値	目標値
			46.9%	60.0%	69.3%	75.0%				
			健康づくり教室の実施	—	10回	3回	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合		本町に住み続けたいと答えた人の割合	
現状値	目標値	現状値					目標値			
34.9%	30.0%未満	69.3%	75.0%							
2	南風原町総合戦略策定事業	9,417,036	—	—	—	—				